

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成 3 1 年度採択）

F S （実行可能性調査）評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	F S 研究名	研究代表者	評 価
31-5	地域・都市構造に応じた機能階層型道路ネットワーク計画・評価手法についての技術研究開発	名古屋大学 教授 中村 英樹	B
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>地域・都市の各種拠点配置特性に応じて、求められる道路の階層数と目標旅行速度の組み合わせを明示し、機能階層型道路ネットワーク計画を立案する手法を提案するとともに、任意の道路ネットワークの機能階層化度の評価指標を開発することを目的とする。</p> <p>&lt;FS評価結果&gt;</p> <p>階層化度の概念のほか、階層化度を表現する方法等について検討を進め、研究成果を得ている。またこの研究成果を受けて、機能階層型道路ネットワーク計画の立案・評価手法の確立が期待できる。しかし、幾つかの指摘がみられることから、指摘事項に留意しながら新規課題として採択することが妥当であると評価する。</p> <p>&lt;今後の研究計画・方法への指摘事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 階層化度の定量化に向けて、専門家に対するアンケートは有効な方法のひとつだと考えられるが、より定量的な方法(例えばリンクのトリップ長分布を使うことなど)についても検討すること。</li> <li>2. 研究成果の実務での利用に向けた道筋についても留意して研究を進めること。</li> </ol>			

※本 F S 評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 39 回新道路技術会議において審議したものである。